

2025年 8 月 1 日

暑い日が続きますね・・・。

ウチの子供が夏休みに入ってますのでですね、それにちょっと影響されちゃって、私もなんか夏休みモードになっているんですよ。

夏休みモードついでにですね、子供が夏休み恒例のラジオ体操をやる、ということで、私も結構最近毎日ついて行ってやっています。小学校の運動場に行ってやるんですけど、朝6時半で涼しいかなと思ったら、めちゃくちゃ暑いんですね。

何十年か前にラジオ体操やった時には、それほどには思っていなかったんですけど、今やってみると、すごい暑いです。気温が何度かやっばり上がっているんでしょうね。今の子供たちは大変だなという風にも思います。

ラジオ体操やっているときにハッと気が付いたんですけど、ラジオ体操って第1と第2がありますよね。音楽がかかるんですけど、頭の中ではちょっと不安なんです。何十年かぶりにラジオ体操やるんで、体って動くのかなって思ってやるんですけど、不思議ですよね。音楽がかかり始めると、その1つ1つのメニューはちゃんと体が動いているんですよ。

頭は不安なんですけど、体は動いているということで、すごく不思議には思うんですけど、周りを見渡すと皆さんそうなんですよね、ちゃんと体が動いているんです、大人たちもですね。

何故なのかなあと思ったら、そうだ、おそらく、学校教育の中で、このラジオ体操っていうのは、すごく訓練されてるんですよ、我々はですね。で、訓練されているから自然にできちゃうっていうことなんですけど、この訓練っていうのは、定義で言うんですけど、「できなかったことをできるようにする」というものなんですよ。

逆に言えば、できるようになるまで帰れないっていうのも訓練なんです。だからどうしても訓練っていうのは厳しいイメージがある。軍隊とかですね、そんな厳しい訓練のイメージがあるんですけど、思ったのは、時に訓練っていうのは必要なものなんだなということです。

訓練で得たスキルっていうのはですね、実は一生ものなんですよ。先ほどのラジオ体操もそうでしたけども、何十年か経った後でも、自然に体が動くんで、体が覚えちゃってるんですよ。だから、訓練っていうのは、そのスキルを身につけるということでは非常に大切です。

で、訓練と対照的に見えるのが研修とかセミナーというものなんですよ。研修とかセミナーっていうのは、人の話をこう聞くんなんですけど、そして頭の中にインプットはしていくんですけど、体に身につけてるかっていうと、別に身につけているわけでは当然ないということですね。

だから、そこをやっぱり訓練することによってできるようにするってことは、身についていく。
それが一生ものになるということですね。

で、おそらくですが、この何年か後に問われることもあるかもしれません。
「あなたは一体何ができるんですか」と。その時にこの訓練で得たものはやっぱり答えやすいですよ。私はこれとこれとこれができますっていうのが答えやすいと思います。

私もこの歳ですけど、これから、そういう風に問われた時に、これとこれとこれができますっていうことが言えるようになりたいなと思いました。

以上

代表取締役社長 角高哲治